

涼を取る「夏扇子」の選び方

扇子には舞踏用や飾り用など様々ありますが、一般的にあおいで涼むために使うのは「夏扇子」と呼ばれ、素材には布や紙が使われます。

布製は織り込み模様やレースが特長で、特に絹に描かれた透けた絵柄はとても魅力的です。ただ、布製は強い風ができにくい性質があります。

実用重視なら、風量の大きい紙製がおすすめです。特に骨の数が多いほど強い風が起きますとされています。

また、閉じた扇子を折り目が見える面から見たときに、先の方が細いほど、「パン」と心地よく閉じるのだそうです。

最近は小型扇風機を使う人が増えましたが、鞆やポケットに入れておいてもかさばらない、「お気に入りの扇子」をひとつ持っておくのも「粋(イキ)」な感じがしませんか？

